



トピック 3 第15回まちづくり協議会 (令和5年6月7日 (水))

今年度のまちづくり協議会の位置付けを確認しました。

まちづくり協議会

第15回まちづくり協議会では、昨年度までの活動や検討内容を振り返り、今年度の方針を決定しました。今年度は、まちなみワークショップでまちづくり提案書を作成し、まちづくり協議会として江東区へ提出します。



まちづくり協議会の様子



トピック 4 第1回まちなみワークショップ (令和5年6月7日 (水))

砂町銀座通りの魅力と課題を探しました。

まちなみワークショップ

第1回まちなみワークショップでは、改めて現状を把握するため、砂町銀座通り沿道を対象としたまちあるきを行い、1枚の大きな地図に魅力と課題をまとめました。

1. すなぎんあるき

芝浦工業大学志村研究室の学生の案内で、まちあるきを実施しました。普段何気なく歩いている通りを参加者同士で意見を出し合いながら歩くことで、新たな気づきとともに、魅力と課題を抽出しました。



まちあるきの様子



まちあるきの様子

2. 地図づくり

すなぎんあるきで気が付いた点を地図に書き込みました。地図にはたくさんのコメントが書き込まれ、参加者の意見を共有できました。



地図づくりの様子



発表の様子

予告

第2回まちなみワークショップ

2023年7月28日(金) 18:30~20:30
砂町文化センター3階 第2研修室

第2回からの参加やお子さんを連れたの参加も大歓迎です!

実施内容

第1回まちなみワークショップを踏まえて、砂町銀座通りの魅力を残しながら、どう課題を解決するのか考えましょう。当日は、「貼り絵ゲーム」という現地の写真を使って、新たな魅力を足しこんだり、課題を取り除くことで、将来イメージをつくりながら意見交換を実施します。

【意見交換の例】

無電柱化したら、どんな街並みになる？

地区計画を導入したら、どんな街並みになる？

沿道空地はどう活用する？

問い合わせ先

「北砂三・四・五丁目地区まちづくり協議会」事務局

■ 江東区 都市整備部 安全都市づくり課 不燃化推進係
電話:03-3647-9491 FAX:03-3647-9009 Email:hunenka@city.koto.lg.jp

■ UR都市機構 東日本都市再生本部 密集市街地整備部
電話:03-3347-4267 FAX:03-5323-0354

※北砂三・四・五丁目地区に土地・建物をお持ちの方、お住まいの方に配布しております。お心当たりのない方、大変お手数ですが上記問い合わせ先までご連絡下さい。

これまでの協議会活動やまちづくりニュースはこちらをご覧ください。



編集協力 江東区・UR都市機構

燃え広がらない・燃えないまちをめざして 北砂三・四・五丁目地区 まちづくりニュース

発行:北砂三・四・五丁目地区まちづくり協議会



No.28
令和5年7月

北砂三・四・五丁目地区まちづくり協議会は、地区区内にお住まいの方等によって組織されています。地域にふさわしい安心・安全なまちを目指し、区が進めていくまちづくりに対しての検討・協議・提案や、地区住民への広報等を行い活動しています。

目次	北砂三・四・五丁目地区まちづくり協議会について	・・・P.1
	児童遊園ワークショップについて	・・・P.2,3
	第15回まちづくり協議会について	・・・P.4
	第1回まちなみワークショップについて	・・・P.4



トピック 1 まちづくり協議会の活動について

まちづくり協議会

1. 合同部会化について

令和4年度まで、北砂三・四・五丁目地区まちづくり協議会は3つの部会に分かれて活動を行ってききましたが、今年度からは地区中心に位置する砂町銀座通り沿道における検討を進めるため合同化した活動を行うこととなりました。

2. 今年度の取組みについて

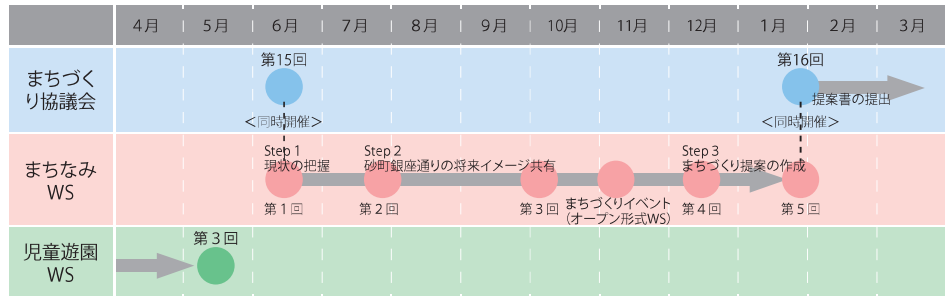
今年度は「まちづくり協議会」を2回、「まちなみワークショップ」を全5回開催し、地区の特性を踏まえた災害に強い安心安全なまちづくりをより具体的に進めていくための3つのステップを1年間かけて実施する予定です。各回での議論や検討内容は、今後のまちづくりニュース等で随時お知らせしていきます。また、芝浦工業大学志村研究室のサポートとして、LINEのオープンチャットやYouTubeでワークショップに参加できない方でも開催の様子を視聴したり一緒に意見交換することができます。(4ページにてご紹介) また、5月には第3回児童遊園ワークショップを開催しました。(2~3ページにてご紹介)



↑YouTube
当日の様子はこちら



↑オープンチャット
意見交換はこちら



令和5年度まちづくり協議会ほか活動スケジュール(予定)

児童遊園ワークショップ

今後整備を行う児童遊園について検討しました。

児童遊園ワークショップは昨年度に第1回、第2回が開催され、今年度は第3回が開催されました。主な内容は、具体的なゾーン分けや施設配置について検討しました。

Step 1 児童遊園ワークショップの開催背景や第1回児童遊園ワークショップの内容については、まちづくりニュース第27号をご確認ください。

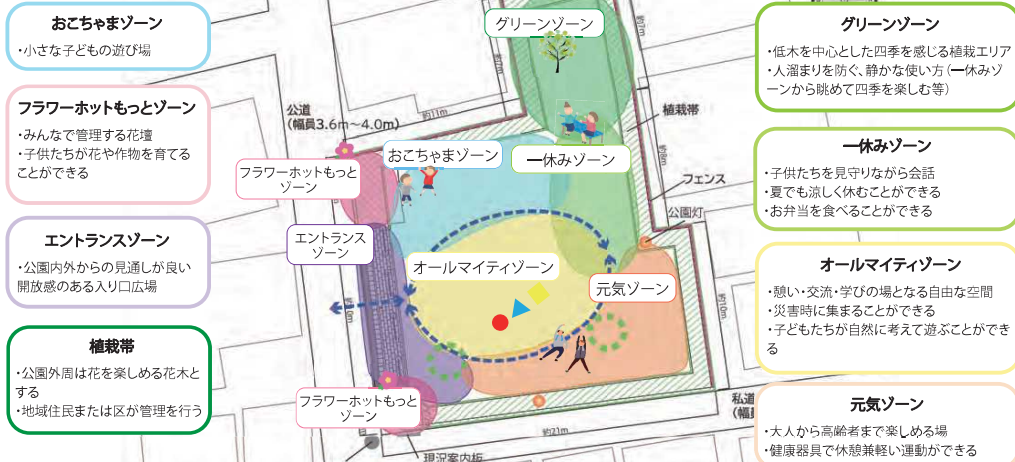


まちづくりニュース第27号はこちら

Step 2 第2回児童遊園ワークショップ（令和5年2月15日）児童遊園のゾーン分けについて話し合いました。

第1回ワークショップで決めた各班のコンセプトを踏まえ、児童遊園の具体的なゾーン分けを検討しました。当日は、新たに設ける児童遊園に想いを馳せながら検討し、未就学児向けのスペースを設けることなど各班に共通した想いもみられました。

ゾーン分けの結果



コンセプト ひとときをゆっくりと過ごす みんなのチャイルドパーク

Step 3 第3回児童遊園ワークショップ（令和5年5月17日）児童遊園に配置したい施設について話し合いました。

第2回ワークショップまでの結果を踏まえ、新たに設ける児童遊園に設置する遊具やベンチ等の設備の配置を検討しました。

A班では遊具等はあまり置かず、自由なスペースをつくる、B班では多世代が利用できる遊具や健康器具等を配置するなど、両班とも特色のある提案がまとめられました。中でも、幅広い世代に向けた公園にしたいという考えは多くの方に共通してありました。



ゾーン分けを話し合う様子



施設配置について話し合う様子

第3回ワークショップの結果（両班の案を参考に江東区で設計をしていきます）

